

公表

事業所における自己評価総括表

事業所名	Liisportsstudio堺		
保護者評価実施期間	令和7年7月1日 ~		令和7年7月13日
保護者評価有効回答数	対象者数	58	回答者数 24
従業者評価実施期間	令和7年7月1日 ~		令和7年7月15日
従業者評価有効回答数	対象者数	5	回答者数 5
事業者向け自己評価表作成日	令和7年 7月16日		

分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・スタジオが広い分、支援の選択肢が多い、運動量をしっかり確保できている	スタジオの広さを活かしたメニュー作成	定期的な支援向上のための会議
2	・記録だけでなく動画も毎回送り、保護者の方に活動の様子を届けられている	出来る限り出来たを見て感じてもらえるような動画を送っている	記録にない部分を送る意識して送る
3	・定期的なイベントで保護者との関係が作れている	保護者のニーズに合わせて計画している	イベント後のリフレクションを実施予定

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	コーチ異動	引き継ぎが不十分	保護者の方に安心してもらえるよう引き継ぎの徹底 異動コーチの異動準備期間を設ける
2	清掃の徹底	習慣化が薄い	1本目の支援後出勤メンバーで掃除徹底(平日) 土日は2本目の支援後に出勤メンバーで掃除徹底 (Google、アレグサセット)
3			

Liisportsstudio堺

公表日 令和7年 7月 29日

利用児童数

58人 回収数

24人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	スタジオでの改善策について
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23			1	年長になって体が大きくなってきたので、もう少し広くてもいいかなと思います。比較的大いと思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1		1	先生がよく変わるので、わかりにくい感じがする。人が変われば、人数もよくわからなくなつて、適切に配置されてるかわかりにくい。	異動に関しては、支援の質の向上と依存・虐待防止の観点で社内ルールに基づき実施しております。異動等の際、コーチ同士で引継ぎを実施しておりますが引き継ぎ内容について見直しを行います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22				物の色が、カラフルなので、子どもたちにもわかりやすいとおもいます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	24				汚いとあまり感じたことがありません。きれいだと思います。	ありがとうございます。引き続き衛生管理を徹底して参ります。
適切な支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1		3	先生がよく変わるので、子供と関係を作れている先生がいなくなつたりすると不安になります。なので、あまり先生を変えないでほしい。と個人的に思います。コーチの入れ替わりが多く特性を理解して頂けているかは不明	異動に関しては、支援の質の向上と依存・虐待防止の観点で社内ルールに基づき実施しております。異動等の際、コーチ同士で引継ぎを実施しておりますが引き継ぎ内容について見直しを行います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22			2	どのこと？と思う。	LINEのリッチメニューよりHPにアクセスしていただき、本ページの下に記載しております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24				先生が一生懸命考えて下さるのですかっています。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21			3	ガイドラインが知らないのわからないです。	厚生労働省およびこども家庭丁の公式サイトからご覧になれます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22			2	先生方はよくやったださっています。ありがたいです。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23			1	毎回見に行くわけではないので、わからないですが、先生のアイデアが光っているとしばしば感じます。子供の興味を惹くものに沿って進めてい下さるので凄いいと思います。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	6	8	他事業所ともコンタクトをとって頂いて感謝しています。	
保護者へ の	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1		1	丁寧な説明がありました。良かったです。	ありがとうございます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	1			されました。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	1		3	参加させて頂いています。勉強になります。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23			1	先生もよくわかって下さっているのので、一緒に喜んでくれるところが嬉しいです。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23			1	良くしてもらっています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23			1	どのコーチも共感してもらって、支援されているように感じます。	

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17		7	勉強会みたいなものを通じて少しある。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	1		いつもありがとうございます。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23		1	いつもわかりやすく動画を取って下さるのでわかりやすいです。	ありがとうございます。 今後ともお子様のできた動画を写真でも届けていきたいと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1	7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11		13		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17		7		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19		5		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24			2つの療育施設に通っていますが、ごちらの事業所には最初から行く事を楽しみにしていた。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	1		行き渋りしたことがなく楽しみに通所しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1	1	先生の事業所間の異動がありすぎです。一人一人の先生がすごくいいので、子供のためにも、その先生方のためにも（異動されたくない先生も、いるんじゃないんでしょうか？）、あまり異動してほしくないです。お辞めにならないような工夫をしてほしいです。大好きな先生が辞めてしまわれて、残念におもっています。 いつも楽しく通わせて頂いています！ありがとうございます！	異動に関しては、支援の質の向上と依存・虐待防止の観点で社内ルールに基づき実施しております。異動等の際、コーチ同士で引き継ぎを実施しておりますが引き継ぎ内容について見直しを行います。 今後ともよろしくお願いたします。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		子どもの人数が多くなりすぎないように調整している	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		人員配置を見ながら子どもの人数も調整している	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		集中の途切れるものを置かないようにできている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1		掃除の徹底
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	支援室がワンフロアのため、クールダウンが必要な状況の場合は死角になる場所をつくっている	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		ion1あり	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5			事例検討会を定期的に設け、職員間で子どもへの支援について考える機会を設けていく
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		保護者から詳しく情報を聞いている	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		保護者からの情報を共有し課題などを話し合っている	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員間で共有され把握している	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	4		職員間で共有する時間を作る
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	朝礼にて共有をしている	役割など共有する
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2		振り返りは毎回できていない 気づいた点などを言い合うようにする
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5				
23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5				
24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者が出席をしている		
25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		園連携をして支援を行っている児童あり		
26 併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			何か所かの園では連携をしているが、より広げ、園との連携をし、双方の環境での支援を連携して行けるようにしたい	
27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		情報提供書の作成をしている		
(28～30は、センターのみ回答)					

関係機関や保護者との連携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に資する取組等を行っているか。						
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。						
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。						
	31	(31は、事業所のみ回答)						
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5					
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			子どもの様子を共有し、共通理解を図る場を作っている		
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5					
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5					
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5					
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5					
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			LiI相談室を案内し、保護者さんと面談できる機会を設けている	保護者が気軽に相談の申し込みができる関係を築いています	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			リイゼミの開催を行っている	保護者の知りたい情報のニーズと時期に合わせて開催できるとよい	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5					
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5					
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			送付時にダブルチェックを徹底		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			利用者情報を都度共有できている		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			出張LiIや無料開放などを行っている		
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			マニュアルの作成・周知、訓練が実施されている	
		46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			マニュアルあり	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			対象児にマニュアルをつけている		
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	4		食事場面無し		
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			安全に配慮し、コーチが補助につくことができている		
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5					
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			ヒヤリがおきた場合には報告をMore Clearにできる		
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			全コーチが研修を実施している		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			内覧、契約時に説明をしている			